

平成24年度第2回常任理事会議事録

日 時 平成24年9月8日(土) 13時～17時
場 所 パルシェ7階会議室
出席者 高木会長他39名

会長あいさつ

暑く忙しい中、出席いただきありがとうございます。少年男子は3年連続国体東海予選を勝ち抜くことができました。全中陸上200mで鷺頭さんのお孫さんが優勝しました。ソフトテニスでも静岡県が全国の上位に入賞してほしいものです。

議事

1. 24年度表彰者の選出について

(1) 日連地方功労者

各団体より推薦のあった杉山登子(レディース連盟)、坪井正信(富士宮協会)、木口利充(静岡市協会)の3名の中から、種々意見が出た中で昨年見送られた杉山登子と坪井正信の2名を日本連盟に推薦することに決定した。

(2) 日連優良団体

由比スポーツ少年団(小学生部会)と静岡大学(静岡市協会)の2団体の推薦があり、種々意見が出た中で採決(24対10)により由比スポーツ少年団を日本連盟に推薦することに決定した。

(3) 県連功労者

各団体より吉岡隆夫(三島協会)、吉村貞幸、山梨常治(以上沼津協会)、矢野恒彦(富士協会)、高橋則男(浜松市協会)、小林正、川島俊昭(以上静岡市協会)の7名の推薦があり、今回は「数年後の日連功労者候補は除く」・「高年齢」を考慮し、吉岡隆夫、吉村貞幸、山梨常治、矢野恒彦、高橋則男の5名に決定した。

(4) 県連優良団体

各団体より笠井レディース(浜松市協会)、球聖クラブ(富士協会)、蒲原スポーツ少年団(小学生部会)、祥鷹クラブ、二の丸クラブ(以上静岡市協会)の5団体の推薦があり、球聖クラブが辞退し、静岡協会推薦の祥鷹クラブと二の丸クラブを二の丸クラブに絞り、笠井レディース、蒲原スポーツ少年団、二の丸クラブの3団体に決定した。

2. 県連規約の改正について

(1) 改正主旨

- ・日連が公益財団法人に移行したための文言の整理、

- ・実態に即した文章表現に変更。
- ・役員任期・解任及び会議における表決の明文化。
- ・役員のスリム化・定年制は検討したが結論に至らず、次年度以降に検討することにした。

(2)提案された改正案の内次の2点を変更した。

- ・第17条の「理事現在数・・・」を「役員現在数・・・」に変更、「2、3」を「(1)、(2)」に変更した。
- ・第24条の「定員の2分の1」を「定員の3分の2」に変更した。

3. 25・26年度役員改選について

<選考にあたっての意見>

- ・(A) 今限りで辞めるつもりでしたが、東日本連盟の副会長を1期だけで辞めないで来年も是非継続してほしいと要望されたので、あと1期、引き続き会長をやる考えである。

落合理事長には、理事長から会長になることは考えにくいので副会長になってもらい、次期会長候補の一人になってもらいたい。

5月27日に会長・副会長会議を開催し、次期理事長は岩本副会長としましたが、選考委員会の皆様には考慮をしていただき検討してもらいたい。

- ・(B) 会長・副会長の打ち合わせで、現理事長が辞める場合は岩本副会長に1期のみ理事長をお願いしたい。
- ・(C) 去年の常任理事会の時を言うと、辞めるなら二人とも辞めるべきで、会長が来期も継続するなら、理事長も継続すべきだ。
- ・(D) 理事長職は重責であり、自己犠牲を持って重責を担う方をお願いしたい。
- ・(E) 組織が円滑に運営されていくことが大事である。県連が飛躍するための人選をお願いしたい。
- ・(F) 全国大会等の大きな大会も実施し、県連の会員登録料も今年から始まり、一区切りついた。また日連や体育協会は70歳が定年である。このため今期で辞めたいと考えている。

会長・副会長会議で調整された、岩本理事長1期でとの案は、理事長職1期では、職務に慣れるだけで、改革等を進めるにも時間がない。

- ・(G) 若い人は家庭や仕事が忙しいと思いますが、それらも犠牲にしても是非若い人が理事長をやってもらいたい。
- ・(H) 選考委員会にどの程度の権限があるのか。
- ・(I) 選考委員会で決定したことは、理事会で承認される必要がある。
- ・(J) 中・高体連から副会長を出すことは可能であるか。
- ・(A) 高体連から副会長を出すのは大賛成である。

- ・(F) 選考委員会で事前了解をとり、理事会で承認してもらうこととなる。

<結論>

東部・中部・西部連絡協議会より各5名、小、中、高、シニア、レディースより各1名の総勢20名による役員選考委員会を立ち上げ、11月末までに上記意見を参考にして役員選考委員会案を決定する。

4. 各団体からの意見

焼津協会より協会の会員を増やしたいが、中学及び高校の男子ソフトテニス部がない。県連として何か良い考えはないか。

- ・過去、教育委員会にもお願いしてきたが、校長先生の考えで決まってしまう。また少子化により教師が少なくなり、クラブ数を減らす方向にあり、ソフトテニス部がなくなっている。地元の声が大切なので、地元から要望がでるように努力してほしい。

5. その他

- ・28年度より全中はゼッケンの内容が一般と同じように3段書きとなる。
- ・部活を終えた中学3年生が、高校へ進学してもソフトテニスを継続してもらうために、中学3年生を対象にした講習会や練習会を実施した場合、日連から10万円の補助がある。東部・中部・西部で計画をしてもらい、計画書及び実施したら報告書を県連事務局に提出してください。
- ・スポーツ指導員養成講習会の開催予定はあるか。
25年度に実施するよう考えている。

<報告事項>

1. 24年度上半期の活動報告

- ・上半期の大会は予定通り実施できた。
- ・国体東海予選では少年男子が3年連続1位になり本大会出場を果たし、少年女子も3県が1勝1敗で得失ゲーム差で2位になり接戦であった。
- ・明電舎が実業団でベスト16になり、来年推薦出場が決まった。
- ・小学生が東海大会や全日本小学生大会でいい成績を上げた。

2. 日本連盟第1回評議員会の報告

- ・収支報告、事業報告があり、役員改選で会長が林 敏弘から表 孟宏に変わった。
- ・国体はシングルスを入れ、チームのメンバー数を減らして参加数を増やしたい考え。

3. 指導員研修会開催について

9月22日（草薙会議室）、23日（有度山）に全日本U17女子監督の岡村勝幸さんを講師に招き実施する。

4. 県登録金の入金状況

8月現在の会員登録者数は、約18,000人で約4百万円の入金があった。

沼本副会長挨拶

長時間の討議ありがとうございました。また多くの表彰者推薦を出していただきありがとうございました。

以上